

第2学年道徳科「優しい心で楽しいクラスに ～『まいごのすず』(学研)【B親切、思いやり】～」

学習指導者 東 泰右

事前質問紙の結果を基に、学級目標である「優しい心で楽しい毎日」の実態を振り返り、みんなが優しい心で生活できるようになりたいという思いをもった子供たちは、道徳科の学習や普段の生活場面で様々な優しい心(気持ち・行為)を見付けていきました。振り返りでは、「これまでも大切にしていたこと」や「新しい発見」を探すという、学びを正確に捉える方法の習得を目指しました。

「まいごのすず」から優しい心を見付けよう

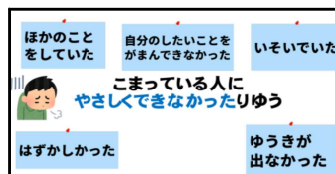
【見通し】

モニターに示した学習の流れを基に、前時の学習や単元の目標を確認することで、「前の時間も優しい心が見付かったよ」「学級目標に近付くために、今日のお話からも優しい心を見付けたいな」などと課題解決への意欲を高めていました。



【行動】

主人公たちが落とし物の鍵を見つめている場面に着目させ、届けるかどうか迷う気持ちがあったことを確認しました。その際、「これまでに自分たちが困っている人に優しくできなかった理由」との共通点を探し、主人公たちが迷う気持ちに共感していきました。その後、映画を諦めて鍵を届けに戻った理由について交流し、多様な考えに触れました。全体交流では、「持ち主が困っているかなと心配したんじゃないかな」「でも、持ち主は知らない人だよ」「届けた方が自分も相手も嬉しくなると思うよ。相手が誰かは関係ないよ」などと、親切な行為のよさや、実行に移すために大切なことに気付いていきました。



【振り返り】



振り返りカードを見て、『優しい心で楽しい毎日』のためにこれから大切にしたいこと」についでこのこれまでの自分の考えを確認しました。その後、学習支援アプリ上の本時の板書の写真の中から「これまでも大切にしていたこと」や「新しい発見」を探し、色分けして線を引きました。これまでの自分を見つめながら本時の学習を振り返ったことで、「相手が誰でも親切にする」などの優しい心(本時の学び)を見付けることができました。そして、見付けた優しい心を手掛かりに、これから大切にしたいことを考え、その理由とともにペアで伝え合いました。

成果と課題

○学級目標と関連させて単元化したことで目標が明確になり、意欲的に取り組む姿が見られた。「優しくできなかった理由」の提示や経験を想起させる発問によって、主人公たちの迷う気持ちに共感させる手立てが効果的だった。  
 ▲これから大切にしたいことが、「落とし物を届けたい」など教材文の場面に終始してしまう子供がいた。生活場面とつなげたり、単元化したことよさを生かし、前時からの考えの深まりに目を向けさせたりする手立てがあるとよい。